

令和5年第3回定例会
(11日目)

津別町議会会議録

令和5年第3回 津別町議会定例会会議録

招集通知 令和 5年 2月 27日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 令和 5年 3月 17日 午前 10時 00分

閉会日時 令和 5年 3月 17日 午前 10時 40分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 山 内 彬

議員の応招、出席状況

議席 番号	氏 名	応 招 不応招	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 招 不応招	出席 状況
1	篠 原 眞稚子	○	○	6	巴 光 政	○	○
2	渡 邊 直 樹	○	○	7	佐 藤 久 哉	○	○
3	小 林 教 行	○	○	8	高 橋 剛	○	○
4	村 田 政 義	○	○	9	山 内 彬	○	○
5	山 田 英 孝	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
町長	佐藤多一	○	監査委員	藤村勝	○
教育長	近野幸彦	○	選挙管理委員会委員長		
農業委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
副町長	伊藤泰広	○	生涯学習課長	石川波江	○
総務課長	松木幸次	○	生涯学習課長補佐	谷口正樹	○
防災危機管理室長	中橋正典	○	農業委員会事務局長	迫田久	○
住民企画課長	小泉政敏	○	選挙管理委員会事務局長	松木幸次	○
住民企画課参事	加藤端陽	○	選挙管理委員会事務局次長	丸尾達也	○
住民企画課長補佐	菅原文人	○	監査委員事務局長	千葉誠	○
保健福祉課長	森井研児	○	監査委員事務局次長	丸尾達也	○
保健福祉課長補佐	仁部真由美	○			
保健福祉課主幹	向平亮子	○			
保健福祉課主幹	丸尾美佐	○			
産業振興課長	迫田久	×			
産業振興課長補佐	渡辺新	○			
建設課長	石川勝己	○			
建設課長補佐	斉藤尚幸	○			
会計管理者	宮脇史行	○			
総務課庶務係長	坂井隆介	○			
住民企画課財政係長	小西美和子	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職名	氏名	出欠	職務名	氏名	出欠
事務局長	千葉誠	○	事務局	安瀬貴子	○
総務係長	土田直美	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	2番 渡邊 直樹 3番 小林 教行
2			諸般の報告	
3	議案	29	令和5年度津別町一般会計予算について	
4	〃	30	令和5年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について	
5	〃	31	令和5年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について	
6	〃	32	令和5年度津別町介護保険事業特別会計予算について	
7	〃	33	令和5年度津別町簡易水道事業会計予算について	
8	〃	34	令和5年度津別町下水道事業会計予算について	
9	〃	35	財産の取得について（津別町大通地区コミュニティ施設）	
10	発議	2	閉会中の継続調査（審査）について （各常任委員会）	
11	〃	3	閉会中の継続調査（審査）について （議会運営委員会）	
12	〃	4	懸案事項促進のための議員の派遣について	
13	報告	1	例月出納検査の報告について（令和4年度11月分、12月分、1月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開会の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は、全員であります。

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、議長において

2 番 渡 邊 直 樹 君 3 番 小 林 教 行 君

の両名を指名します。

◎諸般の報告

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、諸般の報告を行います。

事務局長に報告させます。

○事務局長（千葉 誠君） 諸般の報告を申し上げます。

本日の議事日程については、お手元に配付してあります日程表のとおりであります。

第 2 回報告から、本日までの議会の動向につきましては、お手元に配付の第 3 回報告書のとおりであります。

以上でございます。

○議長（鹿中順一君） これで諸般の報告を終わります。

◎議案第 29 号～議案第 34 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 3、議案第 29 号 令和 5 年度津別町一般会計予算につ

いてから、日程第 8、議案第 34 号 令和 5 年度津別町下水道事業会計予算についてま

での6件を一括議題とします。

昨日に引き続き、質疑に入ります。

質疑はできる限り簡潔に、議題外にわたらないようにし、答弁についても要点をとらえて簡明に願います。

質疑に際しては予算書に記載のページ数を言っていただきます。

日程第4、議案第30号 令和5年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について、歳入歳出一括質疑を許します。ページ数は、514ページから553ページまでです。

2番、渡邊直樹君。

○2番（渡邊直樹君） 1点だけお願いします。

536ページ、出産育児一時金でございます。令和5年度の予算300万円載っています。令和4年度は420万円ではなかったかなと思います。

先日の一般会計のほうでも、令和4年度の母子手帳の発行が14件という報告があったと思いますが、令和5年度、この予算でどのぐらいの出産数を予定しているのかお聞きしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） ただいまご質問いただいた、536ページの出産育児一時金の関係であります。ご質問のとおり、昨年度は1人当たり昨年度の金額42万円の10人分で計上しておりましたけれども、今年度におきましては、その引き上げを先日可決していただきました。50万円で6人分ということで計上しています。あくまでも、これは国保対象の方の見込みで6人ということですので、年間の出生についてはさまざまな事業を含めて一応15人でみているというところになりますけれども、この予算につきましては国保対象ということで、6名分で計上させていただいています。

以上です。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で、国民健康保険事業特別会計予算についての質疑を終結します。

次に、日程第5、議案第31号 令和5年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算

について、歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は、554 ページから 568 ページまでです。

5 番、山田英孝君。

○5 番（山田英孝君） 564 ページの保険・介護一体的実施推進事業の関係です。

予算の提案説明のときに新規事業ということでのご説明がありましたが、どんな事業内容を予定し、また事業費の主だったものはどんな事業予算を計上しているのか教えていただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） ただいまご質問いただきました、564 ページの保険・介護・一体的実施推進事業の関係について、お答えさせていただきたいと思います。

まず、この事業につきましては、令和元年度までの高齢者の医療の確保に関する法令など、関係法令が改正されたことによりまして、令和2年度から令和6年度までに実施が求められている事業ということになります。これまでは中高年の方のメタボ対策など生活習慣病対策が主流であったこれまでの健康医療対策に加えまして、65歳以降の、特に後期高齢期に加齢とともに食事、栄養であったり、身体活動と社会参加、こういったことが不足することによって、心身機能であったり、生活機能であったり、社会的機能が低下して、要介護状態などの危険性が高くなる状態、いわゆるフレイル状態というふうにいわれておりますけれども、そういった状態になることを要望するための事業という形になります。医療や保険、あと介護予防のさまざまな事業を、医療や健診データの分析に基づいて、より適時、的確に一体的に企画実践して予防効果を高めようとする事業に取り組もうとする内容となっています。具体的には、後期高齢者の医療広域連合のほぼ10分の10の財政支援を受けまして、本来は保健師などの専従の専門職を配置してデータ分析や各種事業実施の企画や、現場との連携などを行い進めるものになります。しかしながら、その本格実施には専従専門職の採用であったり、確保、配置が必須というふうになることから、現有勢力ではなかなか対応が難しいというふうに考えまして、人員配置など令和5年度で進めまして、令和6年度に本格実施をするというような構想をもっております。そんなことで令和5年度におきましては、北海道の後期高齢者医療広域連合の本事業のアドバイザーにもなっていま

す事業者の支援を受けまして、現在の津別町の後期高齢者の医療状況であったり、健診状況をKDBという国保データベースを用いて分析、整理、評価を行って、健康課題であったり、介護予防事業等の実践状況のいわば総棚卸を行いまして、計画のアウトラインをつくって令和6年度につなげていこうという事業内容になります。

令和6年度以降の本格実施については、令和5年度のアウトライン計画を基礎にしまして専従専門職の継続的なデータ分析、評価に基づいて、変化する医療健診データをもとにした保険事業や、介護予防事業の実践をより効果的に継続して実施していくという方針になります。

以後はPDCAサイクルを回しながら、さまざまな事業や取り組みを効果的に進めようとする事業になります。その本格実施に向けたスモールスタートとってまされども、準備段階の事業というふうになります。その委託料の中身につきましては、そのアドバイザーの参画を受けまして、先ほどお話しもしましたけれども、現状の事業の整理であったり、健康課題の整理であったり、KDBのデータベースを用いた分析評価、こういったことを総合的に年間かけて行って行って、来年の本格実施に向けて準備しようという内容になりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 5番、山田英孝君。

○5番（山田英孝君） 事業内容の部分について、丁寧なご説明をいただきましたので了解いたしました。

それで、高齢者のフレイル対策の部分についても答弁の中でございましたが、特に運動とか口腔、栄養の重視といった部分がフレイル対策の中ではよくいわれている部分かなと思っております。それで介護予防の関係では、サロン事業だとか、結構、各町内の中で13地区ぐらいやっていると思うんですけど、その部分で、今年度はそういうデータ分析とかアドバイザーの方の意見を取り入れながら、来年度が本格実施というようなお答えでありましたが、そういった介護予防の中で、例えば歯科衛生士さんの部分を専門の方を入れながら、サロンの方への、ほとんど多分、後期高齢者75歳以上の方が多いかなというふうに思っておりますけど、そういう口腔対策の部分でも力を入れていっていただきたいなと思っております。

確か何年前に、今ちょっとわからないんですけど、後期高齢者の中で歯科の通院

が津別はなんか率的には全道一だったということもあった年があったかなと思うのですが、そういう意味では口腔ケアといった部分は、歳をとるほどすごく重要性が増しているといったようなことも聞いておりますので、そういったサロンだとか、そういった予防活動とのつながりで専門職、先ほど言った歯科衛生士とのつながりで継続的にやれるような部分を、令和5年度の中でも検討していただきながら、令和6年度実施といったようなことで対応を考えていただければなというふうに思っております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） 質問ありがとうございます。

津別町は、特に高齢者の介護予防事業、サロン事業、その他、町民の皆さんにご協力いただいたり、議員が代表を務めておられる社会福祉協議会で事業を受けていただいたり、既にさまざま実践されている事業が非常に多いのではないかなというふうには思っておりますけれども、それらをさらに精度を高めるために、この事業に乗っかっていきたいなというふうに考えているところです。

今、特にご質問いただいた口腔ケアの関係につきましては、まさに令和5年度いろいろな検討準備を進めるということで、歯科衛生士さんの参加をいただきながら、いろいろ準備を進めようというふうに担当のほうで進めてくれているという状況になりますので、そこも含めて、今やっているところだけじゃなくて、ブラッシュアップというのですか、より磨き上げるものであったり入れ替えるものもあるかもしれませんが、そういった棚卸の時期にさせていただきたいなと考えていますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で後期高齢者医療事業特別会計予算についての質疑を結びます。

次に、日程第6、議案第32号 令和5年度津別町介護保険事業特別会計予算について、歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は569ページから612ページまでです。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 以上で、介護保険事業特別会計予算についての質疑を終結します。

次に、日程第7、議案第33号 令和5年度津別町簡易水道事業会計予算について、歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は613ページから650ページまでです。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 以上で、簡易水道事業会計予算についての質疑を終結します。

次に、日程第8、議案第34号 令和5年度津別町下水道事業会計予算について、歳入歳出一括質疑を許します。

ページ数は651ページから685ページまでです。

ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 以上で、下水道事業会計予算についての質疑を終結します。

これより、令和5年度各会計予算について討論を行います。

討論は、議案第29号 令和5年度津別町一般会計予算についてから、議案第34号 令和5年度津別町下水道事業会計予算についてまでの6件について一括討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

次に、原案に賛成者の発言を許します。

3番、小林教行君。

○3番(小林教行君) [登壇] ただいま、議長から発言のお許しをいただきましたので、本定例会に上程されました、令和5年度一般会計64億8,100万円(前年度比8.9%減)、国民健康保険事業特別会計6億2,200万円(前年度比8.8%減)、後期高齢者医療事業特別会計1億870万円(前年度比17%増)、介護保険事業特別会計6億4,450万円(前年度比0.8%減)、簡易水道事業会計5億5,450万円(前年度比51%増)、下

水道事業会計 8 億 3,010 万円（前年度比 35.6%増）、合計 92 億 4,080 万円（前年度比 3.0%減）、6 会計の予算に対し、賛成の立場で討論を行いたいと思います。

令和 4 年度は、相次ぐ物価高騰でさまざまなものが値上がりし、計画どおりにいかない、町民の方も将来に向けて不安を抱く年であったと思います。しかし、令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症対策も 5 月には 5 類に変更される予定であり、少しずつ新しい生活様式に移っていくとされ、予算編成につきましてもコロナ禍前へ戻していくといった編成であり、少しずつ本来の姿に戻っていくのかと感ずるところであります。このような中での、令和 5 年度の予算審議となりましたが、まちなか再生事業では、コミュニティ施設が完成し、待望の開設が間もなくとなり、不便であった駐車場も役場前を含め整備されていくとのこと、森林環境譲与税活用事業では、ウッドロスマルシェにおいてゼロカーボンに向け、持続可能なまちづくりに、さらなる歩み続けるとともに、町内外に愛林の町津別をアピールしていけるとのことです。教育費においては、ふるさと教育チャーター事業が計上され、子どもたちの学ぶ意識のさらなる向上に効果を期待したいところ。給食センター施設整備事業では、基本実施計画業務が計上され、健やかな成長に欠かすことのできない子どもたちの給食における、安心、安全、楽しい、美味しいに向けて大きく前進したと考えられるなど、町民の期待に応えられる予算編成であると考えます。

先日、山田議員の一般質問の際に、職員の確保に苦慮しているとの答弁がございました。社会全体で人口が減少しているので当然のことです。

そこで重ねて必要になってくるのは、入った後の対応であると考えます。一人一人が自身のスキルアップを願い、仲間とともに楽しく学び、人間力を向上させ、また新しい仲間を呼び込む、さまざまな発想、行動力をもって町民のため、みんなのために役立っていく、そして人の役に立つことがみんなの幸せに向かっていくことが自身の幸せにつながると感じられるように、町長以下、管理職の皆さまには新人教育、次世代の管理職教育にも力を入れていただき、津別町の明るい未来のため予算編成とあわせて鋭意努めていただきたいと申し添えて私の賛成討論とさせていただきます。

○議長（鹿中順一君） 次に、原案に反対者の発言を許します。

次に、原案に賛成者の発言を許します。

5番、山田英孝君。

○5番（山田英孝君）　〔登壇〕　ただいま、議長から発言のお許しをいただきましたので、本定例会に上程されました令和5年度一般会計64億8,100万円、国民健康保険事業特別会計6億2,200万円、後期高齢者医療事業特別会計1億870万円、介護保険事業特別会計6億4,450万円、簡易水道事業会計5億5,450万円、下水道事業会計8億3,010万円、合計92億4,080万円、これら6会計の予算に対し賛成の立場で討論を行います。

コロナウイルス感染症との闘いは3年に及んでも、なお、その克服を見るに至っていませんが、この間、医療をはじめ、さまざまな分野で多くの皆さんが懸命な努力を重ねていただき、ようやく社会経済活動が正常化しつつあるように感じています。

一方で、ロシアのウクライナ侵攻による資源エネルギー価格の上昇に加え、為替の影響も含めコロナ禍、物価高、円安の三重苦が私たちの生活を苦しめているのが現状です。改めて地方議会の議員の一人として住民の皆さんの生活に密着し、その声を聞く必要性を感じているところです。

そのような中、佐藤町政5期目の初年度となる本年度予算には、町長公約の一つでもある、まちづくり基本条例制定に向けた研修会開催経費が予算計上され、町民の皆さんと協働による策定づくりがスタートすることになります。この策定の取り組みを注視していきたいと思ひますし、連動して議会基本条例の制定に向けた協議も進めていければと考えております。

本町の基幹産業である農林業の振興については、資材価格高騰の影響で厳しい経営が続いていますが、国営農地再編整備事業や道営土地改良事業の継続、農業新規参入者誘致事業の支援拡大などの予算措置も含め、安定的な農業経営の推進に努めていただきたいと思ひます。

林業においては、津別ウッドロスマルシェの核となるバイオマスセンターが令和5年度から稼働するための関連予算が計上、地域内エコシステムの構築で資源循環型の町づくりの推進が図られるものと考えています。

子育て支援については、国の改正にあわせて国保会計での出産一時金50万円の引き上げ、国の事業を活用した伴走型相談支援や出産、子育て応援給付金の一体的実施事

業、産後ケアや乳児健診、発達支援事業などの母子保健事業の推進、認定こども園や子育て支援センターへの運営費や利用者負担減の予算措置、河岸公園遊具の設置、高校生までの医療費無料化、そして教育費における給食費の軽減策など、既存の事業と新規の事業で切れ目のない支援を行うための予算が編成されたと評価しており、この予算執行にあたっては、きめ細かく丁寧に提供することで出生されたお子さんが安心して健やかな育ちができることを期待するものです。

また、課題であった老朽化している学校給食センターの建てかえについては、今年度予算に基本設計、実施設計の予算が計上され、令和6年度建設、令和7年度供用開始に向けて動き出すこととなりますが、十分関係者や関係機関の意見を聞きながら進めていただくことをお願いするものです。

福祉のまちづくりについては、道内市町村の先駆けとして令和3年度からスタートした重層的支援体制整備事業は3年目を迎えます。人口4,200人ほどの小規模な自治体でも今日の社会経済情勢の影響を受け、複雑、困難な課題をかかえ、地域の人たちと離れ孤立している世帯は少なからず存在しており、引き続き町内相談窓口や社会福祉協議会、町外の相談機関とも連携したチーム体制を構築し、一人の困っている人も見逃さない取り組みを進めていただきたいと思います。

また令和5年度は、介護保険事業計画、障害福祉計画等の策定年にあたり、策定委員会等の経費が予算に含まれましたが、委員の皆さんや事業所、利用者の声が計画に反映されるような計画づくりになることを期待しております。

まちなか再生事業においては、この間、建設が進められてきた大通地区コミュニティ施設が3月末に完成します。今年度予算では、この施設の外構工事やJA事務所の解体工事が行われます。そして令和6年度には、幸町棟の建設が予定されていますが、2月の臨時会で審議をされたドラッグストア建設の是非を住民投票に付すための条例案は否決になりましたが、署名に含まれた町民の思いをふまえながら新年度の中で住民懇談会の開催など、その疑問が払拭できるような取り組みを進めることをお願いするものです。

また、今議会で質疑が多かった庁舎正面駐車場外構工事の駐車台数の確保について、出された意見をふまえた検討をお願いするものです。

以上、主立った事業の推進について申し上げましたが、他の事業についても町民の目線に立ち、改善と工夫を凝らしながら事業実施をされることをお願いし、私の賛成討論といたします。

○議長（鹿中順一君） 原案に反対者の発言を許します。

次に、原案に賛成者の発言を許します。

これで討論を終わります。

これより、令和5年度各会計予算について採決します。

この採決は起立によって行います。

まず、議案第29号 令和5年度津別町一般会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第30号 令和5年度津別町国民健康保険事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第31号 令和5年度津別町後期高齢者医療事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第32号 令和5年度津別町介護保険事業特別会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(鹿中順一君) 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第33号 令和5年度津別町簡易水道事業会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(鹿中順一君) 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第34号 令和5年度津別町下水道事業会計予算について採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(鹿中順一君) 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

以上の結果、議案第29号 令和5年度津別町一般会計予算についてから、議案第34号 令和5年度津別町下水道事業会計予算についてまでの各会計予算は、いずれも原案のとおり可決されました。

◎議案第35号

○議長(鹿中順一君) 日程第9、議案第35号 財産の取得について(津別町大通地区コミュニティ施設)を議題とします。

内容の説明を求めます。

住民企画課参事。

○住民企画課参事(加藤端陽君) ただいま上程となりました、議案第35号について説明いたします。

本件につきましては、新たに完成いたします津別町大通地区コミュニティ施設の建物の完了を受け、3月15日完了検査を実施し、同日付で建物の売買に係る仮契約を済ませたところでありますが、当該施設の購入につきましては、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を

求めるものであります。

取得する財産といたしましては、津別町大通地区コミュニティ施設で、取得財産の内容につきましては議案裏面になりますが、別紙のとおりとなっております。

取得する財産の目的としては、令和3年度から令和5年度大通・幸町地区コミュニティ施設整備事業に関する買取事業となっております。取得する財産の所在は、津別町字大通り31番地、取得する財産の種類及び数量ですが、延べ面積が1階1,097.82平方メートル、2階が1,010.19平方メートル、あわせて2,108.01平方メートルとなっており、機能別では図書館が985.66平方メートル、商業機能として585.77平方メートル、交通機能として69.47平方メートル、交流エリアとして329.16平方メートル、その他の部分で137.95平方メートルとなっております。

構造は鉄骨造2階建てであります。

議案表面に戻りまして、契約の方法は随意契約、取得金額は10億3,677万2,000円（うち消費税及び地方消費税額9,425万2,000円）、取得相手先は、札幌市中央区南1条西7丁目1番地3アルファ南1条ビル5階アルファコート株式会社、代表取締役川村裕二であります。

以上、内容の説明をいたしましたので、ご承認いただけますようお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第35号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎発議第2号

○議長（鹿中順一君） 日程第10、発議第2号 閉会中の継続調査（審査）について、各常任委員会を議題とします。

各常任委員会委員長より、所管事務のうち、津別町議会会議規則第75条の規定によって、お手元に配付しました申出書のとおり特定事件の調査事項について閉会中の継続調査（審査）の申し出がありました。

お諮りします。

各常任委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、各常任委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることに決定しました。

◎発議第3号

○議長（鹿中順一君） 日程第11、発議第3号 閉会中の継続調査（審査）について、議会運営委員会を議題とします。議会運営委員会委員長より、特定事件について、津別町議会会議規則第75条の規定によって、お手元に配付しました申出書のとおり閉会中の継続調査（審査）の申し出がありました。

お諮りします。

議会運営委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、議会運営委員会委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査（審査）

とすることに設定しました。

◎発議第4号

○議長（鹿中順一君） 日程第12、発議第4号 懸案事項促進のための議員の派遣についてを議題とします。

令和5年4月1日から、令和6年3月31日までの懸案事項促進のための派遣用務の選択、派遣議員の人員、人選、派遣期間及び用務地等を、その都度、議長において検討の上決定し、議員を派遣したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、懸案事項促進のための議員の派遣については、その都度、議長において検討を行い、議員を派遣することに決定しました。

◎報告第1号

○議長（鹿中順一君） 日程第13、報告第1号例月出納検査の報告についてを議題とします。

監査委員から、令和4年度11月分、12月分、1月分の例月出納検査について報告書が提出されたので、本定例会に報告するものであります。

本件についてはご了承願います。

暫時休憩します。

休憩 午前10時37分

再開 午前10時39分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

◎閉会の宣告

○議長（鹿中順一君） 以上で、本定例会に付議されました事件は全て終了しました。
これで令和5年第3回津別町議会定例会の会議を閉じ閉会します。
ご苦労さまでした。

（午前10時40分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員